

5. 国際対応委員会

令和5年度の国際対応委員会における主な活動状況は次のとおりである。

5-1 委員会の構成

委員長	淡路 貴洋	(住電機器システム)
委員長代行	清水 誠	(住電機器システム)
副委員長	鈴木 章司	(SWCC)
委員	堀部 大	(スリーエムジャパンイノベーション)
委員	平本 康介	(古河電工パワーシステムズ)

5-2 委員会開催日及び場所

第95回	令和5年 7月25日	JCAA事務所およびWEB会議
第96回	令和5年10月19日	JCAA事務所およびWEB会議
第97回	令和5年12月18日	JCAA事務所およびWEB会議
第98回	令和6年 3月 7日	JCAA事務所およびWEB会議

5-3 委員会出席者数 計16名

5-4 審議資料 計19件

5-5 審議内容及び主な活動内容

(1) 電力ケーブル接続技術に関する調査及び調整事業

- ① IEC、IEEE等海外規格と国内規格の間で発生する諸課題への対応
IEC TC20国内委員会のメンバーとして活動した。
- ② 海外の配電用ケーブル接続用品及びその技術動向に関する調査
フランス・リヨン市で開催された Jicable 2023(11th International Conference on Insulated Power Cables)に技術者2名を派遣した。
- ③ 海外技術文献の抄訳
令和5年度に実施する海外技術文献抄訳として、Jicable' 2023論文集より「D5-3 Cold Shrink Joint with embedded sensor for Voltage or Partial Discharge Detection in Medium Voltage Network」を選定し抄訳を行った。抄訳は、令和6年8月発行の会報No. 107に掲載予定とした。

(2) 海外における電力ケーブル接続技術に関する講習会及び講演会等の開催事業

新型コロナウイルス感染拡大等の情勢により、海外高圧ケーブル工事講習会の検討は中止とした。

(3) JCAAホームページ運用の充実

「テクニカルレビュー」、「技術報告書」等について、キーワード検索機能を追加するとともに、新規テクニカルレビューを追加した。

(4) インド大使館への出向

インド大使館経済商務担当公使から要望あり、在日インド大使館へ出向して、JCAAの紹介を実施し、配電用電力ケーブル接続部分野でのインドと日本の協力可能性について打合せた。